

# 市から移譲の4施設建て替え

## グループの総力で人材難乗り切る

医療法人北辰会、介護事業のシエイコムとともに北辰会グループを形成する社会福祉法人聖風会(愛媛県西条市)は、特養、ケアハウス、デイサービス、障害者支援施設などを幅広く展開している。現在は2012年に西条市から運営を移譲された5施設の改革に力を入れている。



社会福祉法人 聖風会 眞鍋敏朗理事長

1996年設立の社会福祉法人聖風会は、もともとデイサービス、在宅介護支援センター、居宅介護支援事業所を併設した特養「光風館」を運営して

いた。その中で社会貢献に繋がる事業の多角化が必要と考え、就労支援施設を併設した定員40人が入所できる障害者支援施設「ていすい」を開設し、運営を続けてきた。ケアハウスやヘルパーズテーション、地域活動支援センターなどの運営も開始し、高齢

者と障害者をキーワードに福祉事業を多角化する中で2012年に、西条市から特養、養護老人ホーム2施設、入所型の障害者支援施設、障害児支援施設の計5カ所の移譲を受けることになった。西条市運営の5施設の職員は市の採用だったが、同法人に移譲さ

### 介護事業者 TOPICS



市からの移譲を受けた後に建て替えを行い、昨年5月に完成した特養「道前荘」

れるタイミングで施設のスタッフであった80人の市職員が退職。北辰会グループの代表も務める社会福祉法人聖風会の眞鍋敏朗理事長は「元々、光風館とていずいで人材は育ててきていたが、新たに5施設を運営していくだけの人材は数・質とも

さらに光風館とていずいで育ててきたスタッフ、さらにはグループの民間会社として介護事業を幅広く展開するシエイコムのスタッフの一部を5施設に異動させることで運営が滞ってしまう事態を乗り切った。一度に運営施設が5事業所も増えてしまうことになったが、教育・研修を重ね、「西条市が運営していた頃よりも質の高い支援を提供できるように」と自負している(眞鍋理事長)という。また、一部入所率の低い入所施設もあったが、同法人が承継した後は入所率100%まで改善させている。

内、4施設は特に老朽化が進んでいることから「住環境の整備がすぐに必要」(眞鍋理事長)と、2施設の建て替えを実施。残りの2施設も建て替えの準備が進んでいる段階だという。眞鍋理事長は「スタッフのやりがいを感じながら働き続けられる環境作りを大切に考え、教育や研修も続けてきた。その結果として当法人のスタッフ全体が育ってきたことを感じている」と話し、今後はこれまで以上に社会福祉法人として地域への社会貢献や還元を考慮しながら提供するサービスの品質の維持・向上に努めていく方針。そのためにも市から移譲された2施設の建て替えも早急に行所者・家族・スタッフ全員が満足できる環境整備に取り組んでいくという。